



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の5つの表をコピーして記入してください
必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 1 月 15 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	特定非営利活動法人 i-care kids 京都
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	
タイトル <small>内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません</small>	医療的ケア児と家族のための防災チャレンジ
実践担当者のお名前	藤井 啓

実践にかかった金額 <small>チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</small>	5万円未満	円
実践の準備にかかった時間 <small>期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に1度、1時間程度3回集まった→3時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</small>	数週間	
実践活動を実施した日時 <small>長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください</small>	西暦 2020 年 4 月 1 日～西暦 2021 年 3 月 3 1 日	
実践の所要時間 <small>期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2時間×2日=4時間</small>	2時間×12回=24時間	
実践の運営側で動いた人の人数		15人
防災教育の対象者の属性 <small>非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)</small>	幼児/保育園児/幼稚園児・教職員/保育士等・保護者/PTA・防災関係者	
防災教育の対象者の人数		約 20人
実践を行った都道府県と市区町村	京都府京都市	
実践を行った具体的な場所 <small>例：〇〇小学校体育館</small>	小規模保育園キコレ 保育ルーム、園庭	
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	地域の警察署、消防署の関係者、防災専門家(大学関係者)、参考書籍、情報、防災グッズ等	



<p>達成目標</p> <p>社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください</p>	<p>近年急増している医療的ケアを必要とする子どもたちや様々な障害を抱える子どもたちを災害時にいかに守るのか、守るために何が必要なのか、毎月の避難訓練や保育園での防災の取り組みを通じて考える、準備をする。</p>	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p><準備> 情報収集（参考文献やインターネットからの情報を中心に）、地域の関係機関（警察署、消防署、防災専門家）との連携づくりをした後、「年間避難訓練計画」「防災マニュアル」の作成、非常時持ち出し袋の作成。</p> <p><実践> 年間計画に沿って、毎月の避難訓練計画を記入、スタッフに周知後、訓練を実施する（毎月1回）。訓練実施後は、スタッフで振り返りの時間を設け、課題や改善点などを話し合う。話し合った内容を日々の保育、環境づくりの中に反映させていく。非常時持ち出し袋は毎月点検を行い、3か月に一度内容の見直しを行う。見直した内容を防災マニュアルの中に反映させていく。保護者へは避難訓練の計画を知らせる。メールのテスト配信などは保護者も巻き込んで行う。また訓練で分かったことや家庭でも実践してほしいことなどは園からのお便りというかたちで保護者に周知する。</p>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<p>医療的ケア児、医療的ケアは必要ないけれど重い障害を抱える園児との避難訓練はある程度かたちが出来つつあり、毎月の取り組みが園児やスタッフの中にも浸透しつつある。障害を抱える子どもたちもいざ訓練となると真剣な表情で避難することが出来ており、実践の積み重ねの重要性を改めて感じている。園の防災物品も毎月の訓練の振り返りから少しずつ充実してきており、災害後、園で少なくとも24時間は過ごすことができるように準備をすることができた。保育スタッフが防災について忌憚なく意見を出し合うことが出来ているのも一つの成果だと感じている。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>



該当しないものを削除し該当するものを残す	学びに向かう力・人間性	かなり
<p>課題・苦労・工夫</p> <p>やってみてわかった新たな課題, 苦労した点, 工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、地域とのつながりや関係者との横のつながりを得ることが難しく、保育スタッフだけで試行錯誤した部分が多い。やはり現場を見ながらの専門家のアドバイスなども必要だということを感じた。(1月18日には佛教大学の先生にアドバイザーとして一緒に訓練をしてもらう予定なので、そこで少し解消されることもあるかもしれない。)</p> <p>医療的ケア児といっても、子どもの状態は様々であり、災害時に必要なもの、ことも様々である。訓練を通じて、いかに緻密にシミュレーションを行い、災害に向けて準備ができるかというのが大事だということを改めて感じている。</p> <p>今後は保育中のシミュレーションだけでなく、家庭や外出先での想定もしつつ、保護者や地域も巻き込んだ防災の取り組みを展開することができたらと考えている。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	佛教大学・福祉教育開発センター 後藤 至功先生
関係者の説明	災害ソーシャルワーク専門
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	医療的ケア児とその家族、医療的ケア児を受け入れている保育園等関係者
伝えたい内容	自分たちが取り組んだ活動について、災害に対しての備えについて

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です

複数のプランを実践した場合には、ここまでの5つの表をコピーして記入してください



フォームへのご意見 (1団体あたり1回だけ記入する内容です)

<p>★このフォームは書きやすかったですか？ わかりにくいところ, 改善すべき点などあれば教えてください</p>	<p>活動の実践期間が 2021 年 3 月末までなので、実践期間があと 2 か月半も残っており、実践のすべてを報告書に反映することができません。 できれば実践がすべて終了した時点での報告書にしたかったです。</p>
--	--